

事業所名

児童発達支援あんふいに

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

20日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|-----|---------|------|------------------------------------|-------|
| 法人（事業所）理念 | | 関わる全ての人に感動を提供しその人らしく生きていくための支援をさせていただく。 | | | | | |
| 支援方針 | | 私たちは『自立』を目指して支援を行っています。 私たちが考える『自立』は、ひとりであることを増やすのではなく、他者や会社を頼ってできることを増やすことを『自立』と考えています。 子どもたちが通所する放課後等デイサービスでは『自立』して過ごしていけるよう個々で成功体験など積めるよう環境を作っています。 | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 分から | 16時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・基本的な生活に必要なスキルを知り、体感し自分で出来ることを増やしていく | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・遊びを通して身体の使い方を知り、感覚統合を楽しく身につけられるよう個々にあったプログラムの提供 ・保有する感覚を十分に活用できる環境を設定 | | | | | |
| | 認知・行動 | ・小集団の中で周りの行動に興味を持ち、どのような状況なのか・何をしているときなのか等一人ひとりが把握しやすい環境を設定 ・公園へ行く等の外出体験で道路の歩き方を体験し危険認知・回避につなげていく | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・他者とのコミュニケーションを楽しめる環境を体験し、多くの言葉に触れ他者へ気持ちを伝えたい感覚を体験し発信を促す ・感じた気持ちを言葉を一致させていけるよう支援していく ・言語以外のコミュニケーション方法を知り一人ひとりに適した方法を提示していく | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・遊びを通して他者との関りを経験し、実際にやり取りを体験しながら他者との距離感をつかめるよう支援していく | | | | | |
| 家族支援 | | ・事業所で行っている支援の様子を記録と写真で情報共有する。 ・ご家庭での状況や困りごとについての相談や支援 | | 移行支援 | | ・園や他事業所などの関係機関との情報共有 ・担当者会議への参加 | |
| 地域支援・地域連携 | | ・園や他事業所との情報共有 | | 職員の質の向上 | | | |
| 主な行事等 | | 季節の行事、近隣の公園へのお散歩、月2回外部講師による音楽療法 | | | | | |